

Japanese  
The Hour Is Come  
51-0415E

## その時は来る

フォニックス アリゾナ州 アメリカ合衆国  
1951年04月15日夕刻



[www.messagehub.info](http://www.messagehub.info)

## ウィリアム・マリオン・ブラハム

"...第七の御使が吹き鳴らすラッパの音がする時には、神がその僕、預言者たちにお告げになったとおり、神の奥義は成就される。" 黙示録 10:7

## はじめに

際立ったウィリアムブラナムのミニストリーは、マラキ4章4,5,6及びルカ書17:30と黙示録10:7と多くの聖書の預言に対する聖霊からの答えなのです。この世界規模のミニストリーはこの終わりの時に聖霊による神の御業の継続なのです。それは聖句の中にあり、イエスキリストの再臨のためにある人々を整えるために立ち上げるために必要とされていると書かれています。

あなたが祈り深くこのメッセージを読むとき、この印刷された御言葉があなたの心に刻まれるようにと祈ります。

メッセージの正しい転写、翻訳を提供できるように最善を尽くしておりますが、英語の録音がウィリアムブラナムによって語られた説教をもっともよく表しているものです。

オーディオや転写された1100の説教がウィリアムブラナムによって語られたものが無料でダウンロード可能で又多くの言語で印刷可能になっています。(日本語での翻訳あり)

変更が行わないかぎり、メッセージを無料でコピー、配布することは許可されています。

敬虔な、静かな臨在のようでしょう？

畏れと安らぎが混ざったような感覚。

あなたにはいくつかの問題があります。

年齢によるものもありますが、長い間悩まされてきた古い問題がありますね。

そして――

胃の不調もあります。

今、恐れずにいてください。

主はご存じです。

そして主は、ただ問題を示すためではなく、

解決のためにおられます。

## その時は来る

1 最近、彼女は足に先天的な変形(内反足)のある赤ちゃんのために、妹さんへハンカチを送ったそうです。

そしてこう伝えました。

「そのハンカチを赤ちゃんの足に結びつけておきなさい。主が癒してくださいます。」

それで、ハンカチはおよそ二週間そのまま巻かれていました。けれども、だんだん汚れてきました。

彼女は言いました。

「洗って、また結び直せばいいのよ。」

妹さんはそうしました。けれどもハンカチは次第に古び、擦り切れてきました。

妹さんは言いました。

「でも、赤ちゃんの足にはまだ何の変化もないわ。もう外してしまおうかしら。」

すると彼女は言いました。

「いいえ、外してはいけないわ。もし破れてしまったら、ひもで結んで、また巻き直しなさい。」

そして続けて言いました。

「私は、必ず良くなると知っているの。」

彼女は集会で、あまりにも多くの奇跡が行われるのを見てきたからでした。

2 それで、その女性は言われた通りにしました。

ハンカチはもうほとんど擦り切れて、赤ちゃんの足には数本の糸が結ばれているだけでした。

ところがある朝、赤ちゃんを抱き上げに行くと――

その夜、主が働いておられたのです。  
 赤ちゃんの足は、まっすぐになっていました。  
 彼女はその赤ちゃんを集会に連れて来ました。  
 擦り切れたハンカチの残りの糸も持って来ました。  
 そして、以前の写真と、その時の写真を見せました。  
 八か月か十か月ほどの小さな赤ちゃん。  
 内側に曲がっていた足が、  
 今は他のどの赤ちゃんとも変わらない、まっすぐな足になっていたのです。  
 さて、もし彼女が途中でハンカチを投げ捨てていたらどうでしょう。  
 ——そこなのです。  
 私たちが祝福を逃すのは。  
 私たちは、神をもう少し待つことを恐れてしまうのです。  
 「ただ待ちなさい。」  
 「もう一度、ささやきが聞こえる。待ちなさい。」  
 「長くはかからない。」  
 「今も御父の御手は働いている。」  
 「やがてイエスと共に勝利の歌を歌う。」  
 そうです。  
 神を待ちなさい。  
 信じなさい。  
 告白し続けなさい。  
 そこに留まりなさい。

52 はい、あなたの健康状態は長い間良くありませんでしたね、姉妹？もちろん、先ほど通りかかった女性と同じように、あなたも緊張しています、非常に緊張しています。あなたの視力は良くありません。近視ですよ、お姉さん？あなたの視力、あまりよく見えません。しばらくそうだったじゃないか？そしてあなたは。… さて、私はただ。… こっちを見ればいい。

マスターが誰かと話していたときのことを覚えていますか？そして彼は個人的な接触を持っていました。彼は弟子たちを全員追い払い、一人の女性が井戸に出てきました。そうか？それを覚えている？はい。そして彼は彼女に一言言いました、“行って、夫を迎えに行きなさい。”

彼女は言いました、“私には夫がいません。” 彼は彼女にそうではないと言った。そうじゃないか？

あなたはクリスチャンである信者です。そしてあなたも神とのより深い歩みを求めてきました。そしてあなたが祈っているのを見ました。ええ、そこです。お腹も痛いんですよ？そうだね。帰れ。神はあなたを祝福しました、そしてあなたは癒されました、親愛なる妹よ。神のご加護がありますように。

“主を賛美せよ、と言おう。” 皆さん、本当に敬虔です。皆さん、私が人間から奪っている命をご存知でしょう。

53 では、姉妹、どうぞこちらへ。

こんにちは、姉妹。

眼鏡をかけておられますね。おそらく目に問題があるのでしょうか。

でも、まず少しお話ししましょう。

心から信じていますか？

……はい、私はあなたが誠実な方だと感じます。良心的で、真面目な方ですね。

今、何かを感じていませんか？

この瞬間、何かを。

それが神の御霊だと信じますか？

信じますね。

信じていなかったからです。

力が流れるのは、

信じる者のところだけです。

今も同じです。

あなたが信じるなら、

神は働かれます。

51 では、あなたが患者さんですね。

少しこちらへ寄っていただけますか。

そこに立ってください。

そして、ただ静かに、心を落ち着けてください。

あなたに触れようとしているのです。

少し繊細な働きなのです。

私の言っている意味は、今はまだ分からないかもしれません。

私たちは見知らぬ者同士ですね。

私はあなたを知りません。あなたについて何も知りません。

今ここで初めて会いました。

聖霊は、とても繊細です。

非常に優しく、静かな御方です。

まずその御方の前に、恵みをいただかなければなりません。

兄弟たち、右側に座っておられる方々。

私が言っていることを感じ取れますか？

今、主の御使いが近づいておられます。

そうすれば、神があなたのために成し遂げてくださいます。

3 そして——

もし何かできることがあれば、喜んでお手紙を書きますし、できる限りのことをいたします。

もし個人的な手紙を私に直接届けたい場合は、封筒に「Personal(個人)」と書いてください。

そうすれば、私の秘書はそれを開封しません。

私が家に戻るまで取っておくか、あるいは私がいる場所へ送ってくれます。

あなたのお役に立てることがあれば、喜んでいたします。

ただし、もしそれが教理や信仰上の見解に関することであれば、できればあなたの牧師に尋ねていただきたいのです。

というのは、私はここで病人のために祈る働きに専念しているからです。

地元の牧師とよく相談してください。

しかし、それ以外のことで私にできることがあれば、喜んでお手伝いします。

4 さて、皆さんがしてくださったすべてのことへの感謝は、思いつく限りお伝えできたと思います。

どうか神があなたがたと共におられますように。

これから少しだけ聖書を読みます。

それから祈りの列を始めましょう。

そして今夜、私たちは天の父が、私たちの願いや思いをはるかに超えて働いてくださることを期待しています。そうでしょうか？

今夜私たちが望むのは、偉大なこと、不可能と思えることを主がなさり、ここにいるすべての病める人々を健やかにしてくださることです。

今夜、どうか一つお願いがあります。

これは大きな緊張の時であり、大きな期待の時でもあります。

愛するクリスチャンの友よ、心から言います。

この集会の間、私はできる限りのことをしてきました。

夜ごとに車椅子の方々を見守ってきました。

癒されたのは、二人か三人だけでした。私は見てきました。

ふだん私は、病について語るとき、車椅子の方ではない人を呼ぶようにしています。

なぜなら、車椅子に座っている人を見れば、誰でもその状態が分かるからです。それは神秘ではありません。

しかし、私がある人と少し話し、霊の導きの中で見守るとき、その人の問題が分かるのです。

けれども、実際に癒しが起こっていないのに「癒された」と言うことはできません。

もし真実を語らなければ、神は私を尊ばれません。

そして、その人も癒されないでしょう。

私がある人が癒されたのをはっきり見るとき、その時に私はそれを宣言するのです。

5 そして、ここに苦しんでおられる皆さんに申し上げます……。

担架や簡易ベッドに横たわっている方々、リウマチで体がねじれ、固まり、動かせない方々。

椅子に座ったままの方、杖や松葉杖に頼っている方々——ここにおられるすべての方に、今夜お願いがあります。

これから数分のうちに私が語ることを、よく注意して聞いてください。

そして、私の言葉を受け入れ、信じていただきたいのです。

そうしてくださいますか？

それがあなたの信仰でした。

あなたの信仰が流れ込んだのです。

その通りです。

信仰は一人のためだけではありません。

愛と祈りは、他の人をも押し上げます。

主は、その信仰を尊ばれました。

50 はい、姉妹、前へどうぞ。

そこに座っておられる牧師の奥様。

それはあなたの信仰だったのです、兄弟姉妹。

わかりますか？

働かせたのは私ではありません。

あなたの信仰です。

一度、心から信じてください。

先日、ある牧師が証しました。

「たとえ神が人を通して業をなさっても、信じない者は信じない。」

そうなのです。

私は繰り返して言っていますが、これは私ではありません。

あなたの信仰が働いているのです。

信仰がなければ、何も受け取れません。

主の頭を杖で打ちながら、「預言してみろ」と言った人々がいました。

そこには何の力も流れませんでした。

なぜですか？

今語ったのは私ではありません。別の方が語られました。  
主の御使いです。  
私を主のしもべとして信じますか。  
従いますか。  
それなら、帰って好きなものを食べなさい。  
胃の問題は良くなります。  
今、癒されています。  
神があなたを祝福されますように。

49 今、もう一つ、同じような胃の問題を感じました。  
彼女が癒されたその瞬間、こちらにも動きがありました。  
少し待ってください。  
霊は互いに反応します。  
同じ種類のものが引き寄せられるのです。  
今、二つが交差しました。はっきり分かります。  
皆さん、どうか静かに。  
もう一度はっきり見るまで、敬虔に。  
……姉妹、それでしたね？  
神があなたを祝福されますように。  
あなたは牧師の奥様ですね？  
先日お会いしましたね。  
そうです。  
あなたは彼女のために信じていました。

どうか、自分の症状があまりにも重いとは思わないでください。  
私たちの主にとって、「難しい病」とは何でしょうか。  
この聖書をもって証しできます。  
私が知っている三人の人が、死んで永遠へと旅立ったはずの人たちでした。  
そのうちの一人は、医師によって死亡が宣告され、家族も集まり、すでに送り出す準備をしていました。  
しかし今夜、その人は生きています。生きています。  
また、がんの症例もあります。  
肉が食い尽くされ、体がやせ細り、医者も手の施しようがないと言った人たち。  
そのような人たちが、今ここにいるのです。

6 少し前のことです。  
テキサーカナで害虫駆除の仕事をしている息子さんを持つ一人の婦人が来られました。  
私たちはダラスで集会をしていた時でした。  
その婦人は祈りの列を通過して来ました。  
ハンカチをこうして掲げながら、私の上着をつかもうとしていました。  
当時よく行っていた、いわゆる「ファーストライン」でした。  
彼女は上着をつかみ、泣いているように見えました。  
私はその手を取りました。  
すると、はっきりと感じたのです。  
大きながんがあり、奇妙な振動のようなものが伝わってきました。  
「ブルブル…」というような感覚です。

私は彼女の手を握ったまま言いました。

「姉妹、あなたはがんを患っていることをご存じですか？」

彼女はハンカチを下ろしました。

すると、鼻ががんによって侵され、崩れていたのです。

彼女は言いました。

「はい、そうです。テネシー州メンフィスで長い間治療を受けてきました。でも、医者にはもう見放されました。」

三十八歳か四十歳くらいの、まだ若い女性でした。

私は尋ねました。

「あなたは信じますか？」

すると彼女は言いました。

「ブラナム兄弟……私は牧師です。」

「あなたの集会のことを聞いてからずっと、こう言ってきました。『もしあなたの注意を引いて、私のために神に癒しを求めて祈っていただけたら、私は良くなる』と。」

私は言いました。

「姉妹よ、あなたのその信仰を神は必ず報いてくださいます。」

7 それから二、三か月ほど経ったある晩のことです。

一人の若い男性が、建物の中を走ってやって来ました。

「ブラナム兄弟！」

そう言って、腕に一人の女性を連れていました。

「この方をご存じですか？」と尋ねました。

私は言いました。

「いいえ、存じ上げません。」

……そうですね。

少し止まりました。

少し難しいのです。

皆さん、どうか祈りの中にいてください。

姉妹、こちらを見てください。

ただ、あなたと話しているだけです。

あなたの霊と触れるためです。

今、ひとつの幻が見えました。

小さな女の子に関するものです。

来るままに語らなければなりません。

そうしないと、続きが見えなくなります。

どうか、皆さん祈り続けてください。

48 今、何かがここにあると感じていますね。

そうでしょう？

それは主の御霊です。信じますか？……はい。

今、またはっきり見えてきました。

問題は——胃ですね。胃の不調です。

食べ物がうまく消化できない。

痙攣のようになり、逆流し、酸が上がり、歯が敏感になる。

そのせいで持続的な頭痛もある。

そうですね？

姉妹、それは本当ですね。

イエスキリストがサマリヤの女に語られたように。

私たちはお互いに見知らぬ者ですね、姉妹。

人生で出会ったこともありません。

もしあなたの人生について何かが知られるとすれば、それは自然な方法ではありません。

超自然的な働きによるしかありません。

その通りですね。

ですから、静かに。

恐れずに。

信じてください。

主は今も同じ方です。

47 私は、あなたがクリスチャンであると信じます。

しばらく前から信仰を持って歩いてこられた方ですね。

一つ、非常に神経が張りつめています。

それはただの神経質ではなく、心配から来る神経の疲れです。そうですね。

あなたは人の問題まで背負ってしまう方です。

まだ渡ってもいない橋を、先に心の中で渡ってしまう。

起こる前に心配してしまう。

そうでしょう？

何かを計画しても、その通りに進まない。

「きつこうなる」と思っても、別の方向へ行ってしまう。

そのたびに心が揺さぶられる。

それは、彼の若いお母さんでした。

しかも——

その女性は癒されていただけでなく、鼻が元通りになっていたのです。

彼女は言いました。

「あの夜から痛みが止まりました。」

そしてある朝、布を外して鏡を見たとき——

子どもたちは大騒ぎになりました。

肉が再び生えてきていたのです。

ただ治っただけではありません。

がんに侵されて失われた部分に、新しい鼻が生えていたのです。

彼女はそのことを証しするため、担当医のところへ行きました。

「私を覚えていますか？」と尋ねました。

医師は言いました。

「ええ、もちろん。でも、一体どうなったのですか？」

彼女は言いました。

「医者を変えたのです。」

医師は尋ねました。

「今はどなたに診てもらっているのですか？」

彼女は答えました。

「イエスというお医者さまです。」

すると医師はこう言ったのです。

よく聞いてください。

「その方のことは聞いたことがない。どこで開業しているのですか？」

どこで診療しているのか、と。

彼女は答えました。

「栄光の中です。」その通りです。

8 さて、愛する皆さん。

これらの証しは作り話ではありません。

名前も住所もお伝えできます。実際に手紙を書いて、その女性に確かめることもできます。

そして、そのような証しは何千件もあるのです。

もし、たった一件でも確実に癒された事例があるなら——

それだけで、神が癒し主であることの証明になります。そうでしょうか？

ここにいる中で、神の癒しを受けたことのある方、手を挙げてみてください。

ご覧なさい。

これほど多くの証人に囲まれているのです。

ですから、今夜は心から主を信じましょう。

そして今夜、どうかこれをしてください。

主をあなたの癒し主として受け入れてください。

たとえ、目が見えなくても。

体が不自由でも。

心臓の病があっても——

主は今も癒し主です。

9 さて、最も恐ろしい病気——

最も多くの人を命を奪うものは心臓病です。

またある時、多くの人が泣き叫び、混乱していました。

一人の少女が亡くなっていたのです。

主は家の中の人々を外に出し、両親と、ペテロ、ヤコブ、ヨハネだけを連れて部屋に入りました。

イエスキリストは少女の手を取り、命を呼び戻されました。

覚えていますね。

静けさと信仰が必要なのです。

今も同じです。

ですから、皆さん、心を落ち着けてください。

主は今も同じことがおできになります。

46 そうですね。

ペテロがドルカスが死んだときにも同じことをしました。

覚えていますか。ドルカスが亡くなったとき、やもめたちは皆泣いていました。彼女がどれほど親切だったかを思い出しながら、取り乱していたのです。

ペテロは家に入り、その様子を見て、まず人々を外に出しました。

なぜですか。

神が何をなさろうとしているのかを静かに求めるためです。

今も同じです。

ここには何百人もの方がいて、皆さん祈禱列に入りたいと願っている。

その思いが渦のように動いています。

それが難しくするのはです。

今、私はあなたに語りかけています。

主が井戸端の女性に語りかけられたように。

いのちの創造主、すべての良き賜物の与え主よ。

この兄弟の上に祝福を注ぎ、癒してください。

今この瞬間、祝福を受け取り、この壇を下り、健やかに歩むことができますように。

御子イエス・キリストの御名によって祈ります。

アーメン。

兄弟、安心してお帰りください。

皆で言いましょう。

「神に栄光あれ。」

皆さん、引き続き静かに、敬虔にお願いします。

45 兄弟たち、どうか祈りの中にいてください。

これはとても繊細な働きです。

皆さんが信じておられるのは分かっています。神もご存じです。

けれども、私たちは人間です。霊を持っています。

その霊があちこちに動くと、集中が難しくなることがあります。

では、ご婦人、こちらへ。

姉妹、こちらを見てください。

心から信じてほしいのです。

今、油注ぎが十分に整うのが少し難しいのです。

ですから、どうか信じてください。

主も同じようなことをなさいました。

ある時、一人の人の手を取り、群衆の中から外へ連れ出し、町の外で静かに語られました。覚えていますか。

二番目ががん。

三番目が結核。

これが、ここアメリカにおける人類の三大敵です。

見てください。

杖にすぎる年老いたお母さんがいます。

車椅子に座っている人がいます。

体が縮こまってしまっている小さな方もいます。

彼は本当は立ち上がりたいのです。

元気になりたいのです。

向こうには、リウマチで体が固まってしまった年老いたお父さんが座っています。

今、私を見つめながら涙を流しています。

癒されたいのです。

しかし、そのような人々も、苦しみながらではあっても、ある程度の年月は生きることができます。

リウマチも、ある段階まで進むと、やがて痛みがなくなります。

骨と骨がくっつき、固まってしまうのです。

10 友よ――

確かに、先ほどのような人々は何年も生きるかもしれません。

けれども、心臓病やがんの人は違います。

今すぐ助けが必要なのです。

でなければ、命にかかわるのです。

だから今夜、これまで多くのことを見てきたあなた方にお問い合わせがあります。

担架に横たわっている方、  
 車椅子の方、  
 杖や支えを使っている方——  
 まもなく祈りの列を作り、病める人のために祈ります。  
 あなたの祈り札が呼ばれ、この壇上に来るときは、  
 心から信じてください。  
 「私はこの椅子から立ち上がる。」  
 「この担架から降りる。」  
 「この場所から歩いて降りる。」  
 そう信じてください。  
 私は、あなたが必ずそうなると断言することはできません。  
 私はただ、主が語らせることだけを語ります。  
 しかし、主が言われることをあなたが行うなら、大丈夫です。  
 もし「立ちなさい」と言われたなら、立ちなさい。  
 どれほど重い障害があっても、立ちなさい。  
 まず一步を踏み出さない。  
 動き始めなさい。  
 そして、何が起こるか見てください。  
 私は一度も失敗するのを見たことがありません。  
 しかし、主が語られるまでは、私は語りません。

11 さて、私がこの町に来た最初の夜、こう申し上げましたね。  
 もしこの集会の中で、

心から信じますか？  
 神があなたを良くしてくださると、心の底から信じますか？  
 本当に、全身全霊で？  
 ……よろしい。  
 それが必要なのです。  
 信仰は混ざってはいけません。  
 疑いと半分ずつではなく、全部で信じることです。  
 今、主は近くにおられます。  
 心を一つにしましょう。

44 前へどうぞ、兄弟。こちらへ。  
 心から信じていますか？  
 神の御子である イエスキリストが、あなたを完全にするために死なれたと  
 信じますか？  
 そして、私が主のしもべであると信じますか？  
 ……よろしい。  
 あなたにはいくつかの問題がありますね。  
 一つは目。視力が弱くなっています。  
 それは硬化です。眼球が硬くなり、視神経も硬くなり始めている。それが原因です。  
 さて、私がお願いすれば、主があなたの願いをかなえてくださると信じますか？  
 信じますね。  
 では、皆さん、頭を垂れましょう。  
 天の父よ、

私はそれを意識しています。  
 彼らは神の人です。  
 しかし覚えていてください。  
 私たちは皆、同じ主に仕える者です。  
 力は人にあるのではありません。  
 神にあります。  
 ですから、今はただ心一つにして、主の臨在を求めましょう。  
 静けさの中で、信仰をもって。

43 よく考えてみてください。

こちら側からも霊が来る。  
 あちら側からも霊が来る。  
 前からも、後ろからも。  
 とても混ざりやすいのです。そう思いませんか？  
 実際そうなのです。  
 夜の集会では、患者さんをこの向きに立たせることが多いでしょう。  
 なぜだと思いませんか？  
 皆さんに背を向けるためです。  
 それは本当です。  
 集中するためです。  
 一つの霊に。  
 ですから今夜、皆さんも祈りの中にいてください。  
 祈禱列に並んでいる方々にお尋ねします。

人々の心の奥にあることが語られなかったなら、  
 何年も忘れていた出来事が明らかにされなかったなら、  
 病気が正確に示されなかったなら——  
 そのようなことが起こらなければ、  
 私は偽預言者だと言ってよい、と。  
 しかし、もしそれが起こったなら、  
 「神に栄光を帰しなさい」と言いました。  
 そう言いましたね？  
 ではお尋ねします。  
 それは起こりましたか？  
 もし実際に見たなら、正直に手を挙げてください。  
 ……ありがとうございます。  
 初めて来られた方、手を挙げてみてください。  
 初めての方々をご覧ください。  
 では、今ここにいる皆さんで、  
 それらのことが本当に起こったと証しできる方、  
 その初めての方々に向かって手を挙げてください。  
 ……ご覧なさい。  
 初めての皆さん、よく見ていてください。  
 識別の働きが現れます。  
 人々に何が起こっているかが語られ、  
 その人の人生のことまで示されます。

そしてそれは、人の力ではなく、  
神が栄光を受けるためなのです。

12 時には急いで進まなければならないことがあります。

その時、御霊はその人に三つ、四つ、五つほどの事柄を示します。

もし座って長く話し続ければ、

その幻は話している間ずっと続きます。

そして止まったなら、

また話し始めれば、再び動き出します。

しかし、それを私がコントロールしているわけではありません。

私は証しします。

自分は皆さんの中で最も小さい者です。

今日の午後、「私の生涯の物語」を聞かれましたね。

私がどんな道を通って来たか、ご存じでしょう。

私は最も小さい者です。

けれども、主の子どもたちの前で、

私の主人を代表する機会が与えられていることを、心から感謝しています。

神があなたがたを祝福されますように。

では、みことばを少し読みましょう。

まもなく奉仕に入ります。

まず、マタイによる福音書第4章23節から読みます。

イエスはガリラヤ中を巡って、諸会堂で教え、御国の福音を宣べ伝え、民のあらゆる病、あらゆる患いを癒された。

続いて2番、3番、4番、5番……6番、7番、8番。

シャリット兄弟、何人くらい並べますか？

まず10人ほどにしましょう。長時間立たせないためです。通常、それ以上は一度に進みませんから。

皆さん、静かに、敬虔にお願いします。

ビリー、ここに並んでいる方々を確認してくれ。

耳の遠い方や、うまく聞こえていない方もいるから。

車椅子や足の不自由な方がカードを持っているかどうかも見てください。

もし持っていたら、その場から前に連れて来てあげてください。

Zの1番から10番、あるいは15番くらいまで。

全員を確認してください。

今は秩序の中で進みましょう。

神は混乱の神ではありません。

静けさと信仰の中で、主が働かれます。

42 ここ数晩、番号を呼びながら、どうしても壇上で誰かが立ち上がるのを見たいと願っていました。

……それは私のわがままだったかもしれません。

そうであれば、神が赦してくださいますように。

皆さん、本当に静かに、心から敬虔な思いでいてください。お願いします。

少し人数が多かったでしょうか？

大丈夫です。進みはゆっくりになりますが、少しお待ちください。

そして今夜は、少し特別な気持ちでもあります。

壇上には、牧師である兄弟たちが座っています。

患者を壇上に連れて来ても、心が整っていなければ、解放は起こりません。

主は言われました。「人々があなたを信じるならば」と。

人々が信じる時、私は天の父から与えられた権威のもとで願い、信じることができます。

しかし、不信や軽んじる霊があるなら、そこには信仰が働く土台がありません。

必要なのは――

敬虔さと信仰です。

ですから今、心を静めましょう。

主を尊びましょう。

そして信じましょう。

(誰かのための祈りの依頼がありましたね。)

はい、祈りましょう。

天の父よ、今求められているこの必要を覚えてください。

あなたはすべてをご存じです。

あなたの御心がなされますように。

信仰を与え、癒しを与え、平安を与えてください。

イエスの御名によって。

アーメン。

41 皆さん、今は祈りの中に入りましょう。

それでは始めます。

Zの1番から呼びます。1番の祈祷カードをお持ちの方、こちらへ並んでください。

その評判はシリア全土に広まり、人々はさまざまな病気や苦しみに悩む者、悪霊につかれた者、てんかんの者、中風の者をみな連れて来た。そしてイエスは彼らを癒された。

するとガリラヤ、デカポリス、エルサレム、ユダヤ、ヨルダンの向こう側から、大勢の群衆がイエスに従った。

そして、短い時間ですが、もう一箇所を本文として取り上げたいと思います。

ヨハネによる福音書第17章1節です。

イエスはこれらのことを語り、目を天に向けて言われた。

「父よ、時が来ました……」

13 頭を垂れましょう。

天の父よ、

厳かに、敬虔な思いをもって、今、私たちは心をあなたの前に低くいたします。

この偉大な集会在今、終わりに近づいていることを感謝します。

そして願わくは、今夜がその頂点となりますように――

多くの人々だけでなく、

ここにいるすべての病める人、

悪しき霊に苦しめられている人、

その一人残らずが、今夜解放されますように。

そして、あなたが栄光をお受けになりますように。

父よ、今夜ここに座っておられる牧師たち、

私の兄弟たちを感謝します。

彼らがこの癒しの列において、私と共に信仰をもって立つてくださることを感謝します。

どうか、神の御霊——  
 私が仕える御使いが、今夜来てくださり、  
 その偉大な臨在がここにあることを明らかにし、  
 特別な時としてくださいますように。  
 人々がもはや恐れないように。  
 天の超自然なる偉大な神が、  
 今、民の中におられ、  
 ご自分の子どもたちの間で働いておられることを知ることができますように。

もし誤ったことをしようとするなら、  
 すべてを見ておられる御目があることを知り、  
 正しいことを行うなら、  
 天の父が見ておられ、報いてくださることを知ることができますように。  
 私たちは蒔いたものを刈り取るのですから。  
 主よ、心と魂と思いのすべてをもって祈ります。  
 この集会を大いなる祝福としてください。  
 これから語られるわずかな言葉を、  
 人々が正しく理解できますように。  
 あなたの僕の唇を清め、  
 あなたの民の心を整えてください。  
 私が正しいことを語り、  
 彼らがそれを聞き、信じることができますように。  
 すべてを、イエスの御名によってお願いいたします。

その日に全員のために祈れなかった場合は、ホール兄弟たちが翌日に引き継いで、全員のために祈ります。そして毎晩、新しいグループのカードを配っています。

奏楽の姉妹、そのまま続けて弾いていてください。

病人のために祈っている間、「主よ、みもとに近づかん (Abide With Me)」を。

あの賛美、愛しています。

皆さんもそうでしょうか？

「主よ、共におらせてください。」

神が今夜、私たちと共にいてくださいますように。

40 では皆さん、よく聞いてください。

祈祷カードの番号が呼ばれた方は、順に前へ並んでください。

まだ呼ばれていない方は、そのまま静かに待っていてください。焦らなくて大丈夫です。

敬虔な心で。

そして、祈り続けてください。

「神様、語られたすべてを信じます。御言葉を信じます。心から信じます。今、私は癒されると信じます。」

そう祈ってください。

会場の外にいる方々にも申し上げます。これは大切なことです。

私は批判する人々に対して責任を負うことはできません。なぜなら、霊的なものは一人から別の人へ移ることがあるからです。皆さんもそれを見聞きしてきたでしょう。

がんであれ、てんかんであれ、どんな病であれ——

もし不敬虔な態度があるなら、私は責任を持ってません。

ねばならない人もいますでしょう。

どうか今、救ってください。

もしまだクリスチャンでないなら、救いに導き、やがて栄光のうちに迎えてください。

父よ、今夜あなたの御霊によって奉仕している間に、人々が見て、信じ、心から受け取ることができますように。

今夜が大いなる夜となりますように。

椅子に縛られている方、松葉杖の方、担架やベッドに横たわっている方々を覚えてください。

主よ、あなたは一人ひとりをご存じです。

どうか、彼らの前に私に恵みを与えてください。

彼らがこう言えるように。

「私は御言葉をそのまま受け取ります。」

主よ、私の言葉ではなく、あなたの御言葉であることを伝えようとしています。

今夜、あなたの御子キリスト・イエスの栄光のために、大いなることがなされますように。

その御名によって祈ります。

アーメン。

39 よろしい。ビリー・ポールは来ているかい？

何枚配ったんだ？百枚？

文字は何だ？……そうか、「Z」だね。

では、今日は「Z」から始めましょう。

毎日、一定枚数の祈祷カードを配ります。

アーメン。

14 では、これからの奉仕——祈りの列のために、

皆さんどうか静かに、落ち着いてください。

外側にいる方々も、心を整えてください。

若い皆さん、テントでの素晴らしい態度に感謝します。

本当に立派でした。

今、ここには皆さんのお父さんやお母さんのような方々がいます。

たとえ実のご両親でなくても、

誰かにとっては、かけがえのない大切な存在です。

あなたが自分の両親を愛しているのと同じように、

誰かがその方を愛しているのです。

その方々は癒されたいと願っています。

私はできる限りのことをして、お手伝いしようとしています。

もし私の母が病んでいたら、

あなたが助けてくださるなら、私はどれほど感謝するでしょうか。

そして私は、あなた方も同じ思いでいてくださると信じています。

15 皆さん、できるだけよく聞いてください。

そして心から信じてください。

私は説教者ではありませんし、説教しようともしていません。

ただ、あなたの信仰が今ここで弱らないように、少しだけ話したいのです。

少しの間、「賜物」について話しましょう。

神の賜物は、いつの時代にも地上にありました。

ただし、神がそれを託す人を見つけられないことが多いのです。

よく聞いてください。

神はその御霊を地上から取り去ることは決してありません。

神が地上から取り去るのは「人」であって、

御霊ではありません。

それをご存じでしたか？

エリヤの上にあった御霊は、エリシャの上に二倍の分け前として臨みま  
した。

そうですね？

それはさらにバプテスマのヨハネの上にも臨みました。

そうですね？

神は御霊を取り去られるのではなく、

人を取り去られるのです。

神は御子を天に引き上げられました。

そして御霊を送り返されました。

そして約束されました。

世の終わりまで、私たちと共にいて、

慰め主として働くと。

16 よく考えてください。

使徒たちの時代に働いていたのと同じ聖霊が、

今この集会において、

現在形で、ここにおられ、

人々の間で働いておられるのです。

立っていただきたい。

確かに、前に立つと信仰が高まります。問題を言い当てられたり、過去のこ  
とが示されたりすると、心が開かれます。

けれども覚えていてください。

神は壇上にいる人だけの神ではありません。

そこに座っているあなたにも、同じまなざしを向けておられます。

信じますか。

今は静まり、敬虔な心でいてください。

心から信じ、外で祈りながら、神があなたを癒してくださると期待する方は  
どれくらいおられますか。

……よろしい。

私は今、主が働かれると信じています。

あとはあなたの信仰です。

38 頭を垂れましょう。

奏楽の方、「主よ、みもとに近づかん(Abide With Me)」を静かにお願い  
します。

今、主の御使いが近くにおられるのを感じます。

天の父よ。

今夜、私たちはあなたを愛します。愛する主イエスよ、あなたを愛します。

あなたがまず私たちを愛し、ご自身を私たちのために与えてくださったから  
です。

今夜、ここにあなたの血によって買い取られた人々がいます。

多くの病んだ人、弱った人、苦しんでいる人々です。

主よ、もしあなたが助けてくださらなければ、数日のうちにこの地上を去ら

問題は私ではありません。

御言葉を信じるかどうかです。

主が約束されたなら、主が成し遂げられます。

36 皆さんをどれほど愛しているか、そしてあなたがたがここに来ておられることを思うと、心がいっぱいになります。

病の中にあり、サニースロープやその周辺で療養しながら、結核やさまざまな病と闘ってこられた方々。

どれほどあなたが良くなることを願っているか、私の心はあなたに向いています。

どうか今夜、これを信じてください。

もし Jesus Christ が今ここに立ち、この会場にいるすべての人のために祈られたなら——

そして、あなたがたが心一つにして信じるなら——

神はこの建物の中にいるすべての人を癒されるでしょう。

主はそれがおできになるのです。

問題は、力ではありません。

問題は、一致した信仰です。

主は今も変わっておられません。

あなたが信じるなら、主は働かれます。

37 これからプレイヤーラインを始めます。

何人かの方を呼んで、祈ります。今夜、主が示されるままに従います。

祈ってほしい方、手を挙げてみてください。

……本当に多いですね。何百人もおられます。

愛する皆さん、できることなら一人ひとりをこの壇上にお連れして、ここに

これを理解することが大切です。

ここにいるのは、あなたの兄弟である私ではありません。

ここにおられるのは、あなたの主、イエス・キリストです。

私たちは皆、その御方の代表にすぎません。

それが真実だと信じますか？

聖霊はここにおられます。

そして、主は喜んで働こうとしておられます。

しかし、どれだけ働かれるかは、

人々がどれだけ御霊に働くことを許すかによります。

それを信じますか？

イエスご自身でさえ、

不信仰のゆえにできなかったことが多くありました。

そうでしょう？

私たちはそれを考えたくないかもしれません。

しかし事実です。

人々の不信仰のゆえに、

主は多くのことを行うことができなかったのです。

17 さて、「正しい心の態度」ということを理解していますか？

神の約束に対する正しい心の態度——

それがあれば、どんな約束でも成就します。

もしかすると、こう言う人がいるかもしれません。

「私の信仰は弱いのです。」

そのように告白してはいけません。

悪魔にそれを知らせてはなりません。

いつもこう言いなさい。

「私は良い信仰を持っている。」

「心から神を信じている。」

悪魔のことを証してはなりません。

そして、主をあなたの癒し主として受け入れたなら、

もう自分を病人のように扱ってはなりません。

もう自分を不自由な者のように振る舞ってはなりません。

「私は癒された」と信じなさい。

主の御言葉をそのまま受け取りなさい。

そうすれば、あとは神の側の問題であって、

あなたの側の問題ではありません。

神の御言葉をそのまま受け取るなら、

その御言葉は、約束したことを必ず生み出します。

そうでしょう？

ですから、信仰を持ちなさい。

心から主を信じなさい。

18 さて、イエスはここでこう言われました。

「父よ、時が来ました。」

すべてのことには季節があります。

それを信じますか？

時は来ています。

神はここにおられます。

あとは、あなたの信仰です。

35 さて、よく聞いてください。

パウロはこう言いました。

「私がキリストに倣うように、あなたがたも私に倣いなさい。」

あの夜、私のもとに来られた神の御霊が、「あなたは病人のために祈るためにこの世に生まれた」と言われました。

世界中の病人のために祈るのだと。実際、今や世界を巡る働きへと導かれています。

主はただ、「病人のために祈りなさい」と言われました。それ以上のことは言われませんでした。

聖書にはこうあります。

「彼らが病人に手を置けば、病人は回復する。」

主イエスは御言葉を送り、さまざまな方法で病人を癒されました。

しかし私は申し上げました。

「人々は私を信じないでしょう。」

すると主は言われました。

「預言者モーセに二つのしるしが与えられたように、あなたにも二つのしるしが与えられる。」

それを口にするのは、私にとって簡単なことではありませんでした。

御使いの言葉を、そのまま信じなければならなかったのです。

しかし私は、その御言葉を受け入れました。

そして今もなお、主はそれを確証しておられます。

時は来ています。

そして神は変わっていません。

34 さあ、愛する皆さん。

今夜もまた、その時が来ています。

決断の時です。

番号を呼ぶ時が来ました。

小さな息子が言いました。

「お父さん、ポケットいっぱいにカードを入れて、あちこちで配ったよ。」

よろしい。

皆さん、癒される準備をしてください。

私は心から信じています。神があなたを助けてくださると。

そこのご婦人、その赤ちゃんのために信じますか。

心から信じますか。

坊や、あなたは信じますか。

信じるね？

そちらのご婦人、心から信じますか。

あなたも、信じますか。

そうですね、信じておられます。

心から信じますか。

あちらの方々も、心から信じますか。

今、問われているのは一つです。

本当に信じるかどうか。

種を蒔く季節があり、

刈り取る季節があります。

そして、物事が起こるべき「時」が来るのです。

かつて、神が水によって世界を滅ぼす時が来ました。

その時、ノアという名の人を送りました。

神は世界を裁きのために整えられました。

そして、ノアが箱舟に入る時が来たのです。

よく考えてください。

ノアは、神が入る時を定められる前には、箱舟に入ることはできませんでした。

しかし、その季節が来たとき——

神ご自身が、ノアの後ろで扉を閉じられました。

そうですね？

それ以後、誰も入ることはできませんでした。

なぜなら、神が扉を閉じられたからです。

そして、やがて神が

あなた一人一人に対しても、

扉を閉じられる時が来ます。

それを信じますか？

人は、自分の恵みの日を過ぎてしまうことがあるのです。

恵みを拒み続け、やがてその日を失うことがあるのです。

それを信じますか？

(今、誰かが倒れたようです。)

外にいる牧師の方々、どうか行って祈ってください。

建物の中は暑いので、気を失ったのかもしれませんが。

外へ連れて行き、数人の牧師で祈ってあげてください。

19 よく聞いてください、皆さん。

これは神の御言葉です。

もし本気で癒されたいと願っているなら、

今語っていることをしっかり聞いてください。

私の言葉に耳を傾けてください。

サタンは、人の注意をそらすために働きます。

あなたが今聞いている真理から引き離そうとすることです。

それが彼のやり方です。

しかし私は今夜、神の恵みによって決意しています。

何が起ころうとも、

神の偉大な御手がここで動くのを見ると。

だから、私に注意を向けてください。

しっかり聞いてください。

そしてただ一つ――

信じて、神の御言葉をそのまま受け取るのです。

20 さて、ご覧なさい。

ノアが箱舟に入る時が来たとき、戸は閉じられました。しかし、その「時」が来るまでは閉じられなかったのです。

またある時、イスラエルの子らがエジプトの束縛から解放される時が来ました。約束の時が近づいたとき、ヨセフを知らないパロが起こりました。なぜでしょうか。季節が変わったのです。それまではイスラエルは尊重されていました。

愛する兄弟姉妹、心から申し上げます。

主イエスがあなたの信仰を癒しの位置にまで引き上げるために、これ以上何ができるでしょうか。

主の地上の働きの時代を思い出してください。

何百人もの足の不自由な人、盲人、病人のそばを通り過ぎられました。

なぜですか。信仰がなかったからです。

ヨハネによる福音書 第5章。

ベテスダの池のほとりには、大勢の病人が横たわっていました。

しかし主は、三十八年間病んでいた一人の人を癒し、他の人々の間を通り過ぎられました。

人々が問いただしたとき、主は言われました。

「子は、父がしておられることを見てする以外、何もできない。父がなさることを、子もまた同じようにするのだ。」

何が起こるのでしょうか。

まず、その人が信じるのです。受け入れるのです。

そして父が示され、子がそれを現される。

さらに主は言われました。

「わたしがしている業を、あなたがたもする。さらに大きな業をする。わたしが父のもとへ行くからである。」

同じしるしと不思議が、今もここにあります。

問題は力ではありません。

信じるかどうかです。

もう遅い時間になりました。長くなってしまいましたね。

けれども、一つだけ覚えてください。

まず心を神の前に正し、「主よ、あなたに仕えます」と約束し、そして御言葉をそのまま信じなさい。

結果を見てから信じるのではありません。

先に信じるのです。

「祈って求めるものは何でも、すでに受けたと信じなさい。そうすれば与えられる。」

受けたと信じるなら、持つのです。

わかりますか。

時は来ています。

主イエスも言われました。

「父よ、時が来ました。」

聖書が言うように、あざける者が満ち、思い上がり、高慢で、快樂を愛し、神を愛さず、約束を破り、自制がなく、荒々しく、善を憎む——そんな時代が来ると。

その時が来ています。

信じる者にしるしが伴う時も来ています。

教会が前進するか、後退するかの時も来ています。

あなたが決めなければなりません。

前に進むか。

そのまま戻るか。

時は来ました。

神は準備されています。

あとは、あなたです。

33 そして今、このリバイバルも終わりに近づいています。

しかし、もはや尊重の時代ではなく、神がご自身のさばきを民の上に注がれる時が来ていたのです。時が満ちたのです。

またある時、ヘブルの子らがバビロンへ連れて行かれたときのことで。よく聞いてください。正しいことのために立たねばならない時が来ました。王は勅令を出し、「この像を拝まない者はだれでも、燃える炉の中に投げ込まれる」と命じました。

シャデラク、メシャク、アベデネゴが、自分たちの立場、すなわち神への信仰を示す時が来たのです。彼らは像に背を向けて言いました。

「私たちの神は、この燃える炉から私たちを救い出すことができになります。しかし、たとえそうでなくても、私たちはあなたの像を拝むことはいたしません。」

そこにありました。時だったのです。季節が来ていたのです。

そしてついに、彼らを炉に投げ込み、その信仰を焼き尽くそうとする時が来たのです。

21 それが悪魔が常にやろうとしていることです—あなたを何かに焼き尽くし、祈られると病気にし、神との経験を失ったと思わせます。彼はあなたに嘘をつけています。

神の言葉の上に立たなければならない時が来ます。一人で立つ。でも、その時が来たら、そこに立ってください。自分の感情と信仰を分けて考えなければなりません。今夜の時間です。

ヘブライ人の子供たちが火の炉で証言を封印しなければならなかった時が来ました。その朝、彼らを見ることができます。すぐに見てみましょう。その朝、彼らを見ることができます。バビロンでは素晴らしい時間が来るだろう。王は言いました、「さあ、見てください」。ここには狂信者が何人かいます。そして彼らは私たちに彼らの宗教に関して少し問題を引き起こしています。そこで、あそこに炉の火を作り、これまでよりも 7 倍高温で加熱します。そしてそれを彼らから焼き尽くします。”

22 聖霊を人の中から焼き尽くすことができると、想像できますか。

そんなことはできません。

見てください。王が王座に着いている姿が目には浮かびます。彼の時が来て

いたのです。ヘブルの子らは縛られ、階段の前に立たされ、あの大きな炉へと続く壇の上を歩かされていました。

シャデラクがメシャクにこう言うのが聞こえるようです。

「なあ、ちゃんと祈り抜いたか？」

サタンが火を強めてくるとき、私たちは立ち止まって確かめねばなりません。

「主よ、私は本当にあなたを信じていますか？」

シャデラクは答えます。

「ああ、すべて祈り終えた。心は整っている。」

役人が言います。

「考え直すか、若造？」

「いいえ。私たちは自分のいのちをもって証しを封じる覚悟です。もう準備はできています。」

ネブカデネザル王が言います。

「もし今、像を拜むなら、この命令を取り消してやろう。」

「いいえ。私たちは主の軽んじられた少数の者たちと共に進む道を選びました。最後まで貫きます。」

それは決断の時でした。

残された時間は、ほんのわずかでした。

23 今夜ここに座っておられる多くの方々も、まさに同じ状態にあります。心臓の問題を抱え、椅子に縛られるように座り、松葉杖に頼り…この集会も残りわずかです。決断の時が来ています。

私が語ったこと、そして神が聖書に書かれたことを真理として信じるか。それとも、そのままの状態で立ち去るか。

今こそ、その時なのです。

そんな声も聞こえたでしょう。

それでも止まりません。

「奇跡の時代は過ぎ去った。」

そんな言葉もあったでしょう。

それでも止まりません。

彼女にとって大事なものは一つだけ。

触れること。

足の間をくぐってでも、どんな方法でも、心の願いに届くまで進み続けました。

そして——

衣の裾に触れました。

その瞬間(アーメン)、

長年止まらなかった出血は止まりました。

時が来ていたのです。

今夜も同じです。

時は来ています。

触れるかどうか。

信じるかどうか。

それだけです。

32 見てください。

今、決断の時です。

どんな問題があろうと、神の御言葉を受け入れる人がいるなら、私は挑戦します。

またある時、一人の小さな女がいました。長年、血の病を患っていました。血は止まらず、持っていた財産はすべて医者に費やしましたが、何の助けにもなりませんでした。

Jesus Christのことを聞いたとき、彼女は心の中で言いました。

「もしあの方にお会いできて、衣の裾にでも触れることができたなら、私はきっと良くなる。」

それは信仰でした。

まだ触れていない。

まだ癒されていない。

でも、心の中で決めたのです。

今夜も同じです。

「もし信じるなら。」

それがあなたの決断です。

父は待っておられます。

時は、今です。

31 ついに、その時が来ました。

湖のほうで物音がします。舟が岸に着きました。

そして、あの小さな女性がやって来ます。何とかして主のもとへ近づこうとしています。

何だったのでしょうか。

時が来ていたのです。

彼女の機会が来ていたのです。

群衆をかき分け、押し進みます。

「戻りなさい。会堂から追い出されるぞ。」

「よし、上へ連れて行け。」

そう命じる声が聞こえるようです。熱気が強くなり始めました。

でも心配しないでください。今夜あなたが主を癒し主として受け入れるなら、明日サタンは熱を上げてくるでしょう。圧力をかけてくるでしょう。しかし、それを恐れなくてよいのです。

彼らはさらに歩みを進めます。

「本当に祈り終えたか？」

「はい。」

「よし。」

階段を一段、また一段と上がり、最後の一步のところまで来ました。気が遠くなるような感覚。まもなく炉の中へ落とされる、その直前です。

槍を構えた衛兵たちが、彼らを押し込もうと待ち構えています。

炉は七倍も熱く燃え上がっていました。

まさに、信仰が試される瞬間です。

しかし、火は聖霊を焼き尽くすことはできません。

24 ご覧なさい。今まではずいぶん暗い場面を描いてきましたね。

では、カメラを少し上へ向けてみましょう。

地上で何かが起こっているとき、天でも同時に何かが起こっています。

物事にはいつも二つの側面があります。サタンが働いているとき、主イエスもまた働いておられるのです。あなたが信仰を委ねる相手によって、結果は決まります。キリストに委ねなさい。

さあ、上を見てみましょう。

私は、威光のうちに座しておられる主のお姿を見るようです。祭司の衣をまとい、すべてを見下ろしておられる。

その右手から、一人の大いなる御使いが急いで来ます。名はガブリエル、

大天使です。彼は走り寄り、剣を抜きます。

「主よ、バビロンをご覧になりましたか。あなたの民が、あなたのために立ち上がっています。立つべき時が来て、彼らは立っています。しかし、あの者たちは彼らを燃える炉に投げ込もうとしています。どうか私を遣わしてください。私がすべて片づけましょう。」

確かに、彼ならそれができたでしょう。

主は「御使いたちに命じて、あなたを守らせる」と言われました。神を恐れる者のまわりには、主の御使いが陣を張っているのです。

地上で火が燃え上がっているとき、天では守りの軍勢が動いているのです。

25 ガブリエルがさらに言うのが聞こえるようです。

「主よ、もしお許しくださるなら、私は下って行き、バビロンを地図から消し去りましょう。あの者たちをご覧になりましたか。」

しかし、主は静かにお答えになります。

「ガブリエルよ、あなたは素晴らしい御使いだ。創造の日から、わたしの右に仕え、忠実であった。しかし、あなたを遣わすことはできない。今はまだ、その時ではない。」

すると、別の御使いが近づいて来ます。

神は天に多くの御使いを持ち、そのすべてが命令を待っているのです。

その御使いは急ぎ寄り、ひれ伏します。名は“ワームウッド”。水を司る者です。

「主よ、バビロンであなたの子らが立ち上がっています。今朝、彼らは燃える炉に投げ込まれようとしています。もうすぐです。」

私は創造のときからあなたのそばに立ち、水を支配してきました。大洪水のとき、深淵の泉を裂き、地を水で覆い、世界を滅ぼしました。今朝、私を遣わしてください。あの都を地の面から洗い流しましょう。」

確かに、彼もそれができたでしょう。

彼らは陣営に入り、十分に食べ、ぶどう酒を飲み、喜びました。

自分たちだけでなく、町全体を救ったのです。

今夜ここにも、多くの病んだ方がいます。

心臓の病、結核、車椅子に縛られている方。

なぜ、そこに座って死を待つのですか。

時は来ました。

神はもう十分に示されました。

あとはあなたです。

決めなければなりません。

「なぜ、ここに座って死ぬのを待つのか。」

立ち上がるか。

それとも座り続けるか。

決断の時です。

30 見てください。

あなたは敵の陣営へ行く必要はありません。招かれてもいません。

あなたは今夜、父の家に来ているのです。

父はあなたを待っておられます。来てほしいと願っておられます。

御子を遣わし、十字架で死なせ、あなたの癒しのための代価はすでに支払われました。

備えは整っています。

だから――

時は来ました。

今、あなたが決める時です。アーメン。

もし助けてもらえれば生きる。

もし殺されても、どうせ死ぬ身。

ここに座っていても死ぬのです。

だから彼らは決断しました。

飢えたまま座っているより、立ち上がることを選んだのです。

信仰とは、絶望の中で立ち上がることです。

「ここに座って死ぬ」よりも、「一步踏み出す」こと。

時が来たのです。

あなたも、決める時です。

29 今夜も同じです。

今、すぐの決断が必要です。

「今日、だれに仕えるのか選びなさい。」

神の御言葉をそのまま受け取りなさい。

御言葉は語られました。しるしは行われました。聖霊はここにおられます。

時は来ました。

神はこれ以上、何ができるでしょうか。

しるしと不思議を伴って送られ、識別の働きが示され、写真にまで写され、世界中に広められました。何千、何万という人が証しています。多くの人が癒されています。

では——あなたはどうしますか。

あの四人は、夜中に立ち上がり、信仰によって敵陣へ向かって歩き出しました。

神はその信仰を尊ばれました。

荒野に大きな響きを起こし、敵を逃げ去らせたのです。

しかし、主はまた言われます。

「あなたも忠実な御使いだ。しかし、あなたを遣わすこともできない。」

天の軍勢は備えられ、力は十分にあります。

けれども、神はしばしば、御使いではなく、ご自身で働かれるのです。

そして——

次に起こることは、御使い以上の栄光となるのです。

26 「彼らをご覧になりましたか？」

「見ている。夜通しずっと見ていた。」

兄弟姉妹よ、主は雀さえもご覧になるお方です。だから、あなたも見ておられる。あなたがどれだけ信じているか、どれほど立とうとしているか、その信仰を見ておられるのです。

今、その時が来ています。あなたはどうしますか。

主は言われます。

「夜通し彼らを見守っていた。彼らの祈りは一つ残らず聞いた。御使いたちよ、あなたがたは忠実だった。しかし、あなたがたを遣わすことはできない。わたし自身が行くのだから。」

アーメン。

主が御座から立ち上がられる姿が見えるようです。祭司の衣が威厳をもって垂れ下がる。

「東風よ、西風よ、北よ、南よ、来なさい。」

すべてが従います。

遠くにある白い大きな雷雲に向かって、「こちらへ来なさい」と命じられる。雲は御座のそばへと押し寄せる。

主はその上に踏み出される。

稲妻をひとつつかみ、いのちの木のそばを通り、松の枝をひとつ取られる。

「どうなさるのですか？」

「今朝、バビロンへ行く。

わたしの子らが立った。だから、わたしも立つ。」

——それが神です。

御使いを遣わすこともできる。水で流すことも、火で打つこともできる。

しかし、信仰の炉に投げ込まれる子らのために、ご自身で共に立たれる神。

そしてその炉の中に、第四の人が立つのです。

火は焼き尽くせない。

神が共におられるからです。

27 ああ、そのときです。

シャデラク、メシャク、アベデネゴは、主のために最後の信仰の立場を取り、燃える炉の中へと下って行きました。

そして、火の中に入ったその時——

そこには、神の子のような第四の方がおられたのです。

炉の中で、熱風を吹き払っておられた。

ああ、主は雀をも見ておられる。

もし栄光の座からバビロンまで三人の子らのために来られたのなら、今夜ここに座り、縛られているすべての人のために、どれほどなお来てくださらないでしょうか。

時は来ました。

父よ、時が来ました。

あなたのためにも、その時が来ています。

今、決断の時です。

火はあなたを滅ぼすためではありません。

あなたの信仰を証明するためです。

第四の方は、すでに炉の中におられます。

あなたが立つなら、主も立たれます。

28 あるとき、また別の「時」が来ました。

四人ほどの男たちが、町の門の外に座っていました。

SamariaはSyriaの軍勢に包囲され、完全に封鎖されていました。町の中では飢饉が極まり、どうすることもできません。彼らは重い皮膚病におかされ、町にも入れず、門の外に追いやられていました。

彼らは言いました。

「なぜ、ここに座って死を待つのか。」

アーメン。

「なぜ、ここに座って死ぬのを待つのか。」

町の中では、人々が子どもを煮て食べるほどの惨状でした。敵は周囲を取り囲み、兵糧攻めにしていたのです。

道は二つしかありませんでした。

「町に入っても、食べるものはない。

ここに座っていても、確実に死ぬ。」

今夜、あなたの中にも同じ場所にいる方がいるかもしれません。

医者に行った。できることはすべてしてもらった。もうこれ以上はない、と告げられた。

では、なぜそこに座って死を待つのですか。

彼らには一つの選択しかありませんでした。

敵の陣営へ行くこと。